| 学校番号 | C2101 |
|---|---|

令和５年度　理科

| 科目 | 物理基礎 | 単位数 | ２ | 必要Ｓ出席数 | ８ |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編 新編物理基礎（東京書籍） | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | |

| | 年間 | １範囲 | ２範囲 | ３範囲 |
|---|---|---|---|---|
| レポート | ６枚 | ２枚 | ２枚 | ２枚 |
| スクーリング | １８回 | ７回 | ６回 | ５回 |
| テスト | ３回 | ○ | ○ | ○ |
| 課題・実習等 | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

運動と力の関係、エネルギー等、物理の基本法則を学びます。
また、電磁波や放射線など、健康とかかわりが深いことについても、物理の見方で考えます。
レポートは教科書と計算で完成させることができます・
テストは主にレポートから出題します。
計算がたくさん出てきますので、計算の苦手の人は厳しい科目です。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって、物理学的に探究する能力と態度を育み、物理学の基本的な概念や原理、法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 物体の運動やエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。<br><br>物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを通して、探求の過程をふまえた考察、記録、表現できる技能を身につけている。 | 物体の運動と様々なエネルギーに関連する事物・現象の中に問題を見い出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 | 日常生活や社会との関連を図りながら物体と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。 |

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

4　学習の活動

| 範囲 | 単元 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 物体の運動と力 | 速さと速度<br>等速直線運動<br>等加速度直線運動<br>力について<br>運動の法則<br>落下運動<br>日常に潜む力 | a:物体の運動と力について意欲的に関心をもつことができる。<br>b:物体の運動と力の関係を表すことができる・<br>c:落下運動の実験により、観察、技能を身につけることができる。<br>d:物体の運動と力の関係を理解することができる。 | レポート<br>定期考査 | レポート | レポート |
| 2 | 仕事と様々なエネルギー | 仕事とエネルギー<br>力学的エネルギー<br>熱エネルギー<br>熱と仕事<br>波 | a:　エネルギー、波などの物理現象に関心をもつことができる。<br>b:エネルギー、波などの現象を考え、表現できる。<br>d:仕事と関連付けながら様々なエネルギーとのかかわりを理解することができる。 | レポート<br>定期考査 | レポート | レポート |
| 3 | 電気とエネルギー | 電気<br>電気と磁気<br>原子とエネルギー | a:　電気や原子ついて、関心をもつことができる。<br>b:電気の利用について、考え表現することができる。。<br>d:電気について基本的な仕組みを理解する | レポート<br>定期考査 | レポート | レポート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度